

「金融仲介機能のベンチマーク」について

当金庫では企業のライフステージに応じた課題解決の提案や公的機関との連携によるコンサルティング機能の発揮を経営戦略に位置付けております。当金庫の取組み状況を「金融仲介機能のベンチマーク」も活用しながら定期的にモニタリングし、さらなる企業価値向上にむけPDCA管理を強化していく方針です。

[共通01] 当金庫がメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標(売上・営業利益率・労働生産性等)の改善や就業者数の増加が見られた先数、及び、同先に対する融資額の推移(先数はグループベース)			
共通ベンチマーク	メイン先数	H30/3	
	メイン先の融資残高	4,081先	
	経営指標等が改善した先数	1,715億円	
		H30/3	H29/3
	経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	1,699先	H28/3
		959億円	1,003億円
			998億円

[共通02] 当金庫が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況(先数はグループベース)					
共通ベンチマーク	中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	条件変更総数	好調先	順調先	不調先
		575先	127先	172先	276先
※経営改善計画の進捗状況は、売上または当期利益が計画比120%超を「好調先」、80%~120%を「順調先」、80%未満および、経営改善計画のない企業を「不調先」と判別して記載しております。(平成30年3月末現在)					

[共通03] 当金庫が関与した創業、第二創業の件数(件数はグループベース)		
共通ベンチマーク	当金庫が関与した創業件数	133件
	当金庫が関与した第二創業件数	1件
(平成29年度実績)		

[共通04] ライフステージ別の与信先数、及び、融資額(先数は単体ベース)							
共通ベンチマーク		全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
	ライフステージ別の与信先数	7,943先	638先	233先	1,949先	154先	664先
	ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	2,260億円	113億円	147億円	1,178億円	66億円	250億円
(平成30年3月末現在)							

[共通05] 当金庫が事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資額、及び、全与信先数及び融資額に占める割合(先数は単体ベース)			
共通ベンチマーク		先数	融資残高
	事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	704先	367億円
	上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	8.9%	16.2%
(平成30年3月末現在)			

[選択02] メイン取引先数の推移、及び、全取引先数に占める割合(先数は単体ベース)				
選択ベンチマーク		H30/3	H29/3	H28/3
	メイン取引先数の推移	4,391先	4,034先	3,660先
	全取引先数に占める割合	55.1%	51.0%	46.4%

[選択14] ソリューション提案先数及び融資額、及び、全取引先数及び融資額に占める割合(先数は単体ベース)				
選択ベンチマーク		全取引先①	ソリューション提案先②	②/①
	ソリューション提案先数、及び、同先の全取引先数に占める割合	7,971先	230先	2.9%
	ソリューション提案先の融資残高、及び、同先融資残高の全取引先の融資残高に占める割合	2,260億円	51億円	2.3%
※ソリューション提案先は、本業支援(企業価値の向上)先数及び販路開拓、創業、M&A、事業承継支援を実施した取引先数です。(平成30年3月末現在)				

[選択15] メイン取引先のうち、経営改善提案を行っている先の割合(先数はグループベース)				
選択ベンチマーク		メイン先数①	経営改善先数②	②/①
	メイン取引先のうち、経営改善提案を行っている先の割合	4,081先	142先	3.5%
	(平成30年3月末現在)			

[独自] 取引先に対する福利厚生の充実支援(件数は単体ベース)		
独自ベンチマーク	福利厚生パートナー契約先企業数	10,150件
	契約先の従業員数	98,573名
	優遇プランの利用件数	9,560件
(平成30年3月末現在)		